

夢に向かって努力する仲間と過ごす中で進路を決めることができる

R. H.

東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 進学

ひたちなか市立 長堀小学校 卒業

茨中・茨高の授業は、中高一貫校ということを活かし高校3年の時に、より実践的な問題演習や共通テスト対策に時間を充てられるように進むため、受験を計画的に進めることができます。さらに、放課後に行われる課外では、問題演習を中心に授業で取り扱いきれない内容や、授業の内容を深める講義を聞くことができるため、授業で習ったことを確実に定着させることで苦手科目を克服したり、得意科目を伸ばすのにとっても助かりました。また、分からない問題があった時にすぐに質問できる環境があったことはとても良かったと思います。職員室に質問をしに行くと、先生方がいつも快く丁寧に教えて下さり、疑問をすぐに解決することができるだけでなく、他にも様々な視点から解答を導く事ができることや、以前学んだことを応用して解くこともできることを教えて下さり、知識も増やすことができました。英検では英作文の添削や二次試験の面接練習、大学受験では志望理由書の添削や口頭試問の練習などをしていただき、たくさんの支えがある中で受験に臨むことができました。

私は6年間ソフトテニス部に所属していました。部活動では、自分たちで練習メニューを考え、大会を通して部員同士でアドバイスをし合うなど自発的に行動する姿勢や、コミュニケーション能力を身に着けることができました。良いプレーが出たときには皆で褒め合い、上手くいかないときはお互いに励まし合うなど、様々な場面を顧問の先生や部活の仲間と共に過ごした時間はとても良い思い出です。

茨中・茨高の良いところは、生徒一人一人に親身になって下さる先生方や自分の将来の夢に向かって努力する仲間と学校生活を過ごす中で進路を決めることができるということです。茨中に入学してすぐの1年生の時から、将来何になりたいのかについて書く作文の宿題や、担任の先生との面談で、自分の将来の夢について考える機会が多く与えられたことで、ただ勉強するのではなく、今学んでいることが将来役に立つという意識をもって学ぶことができました。さらに、中学3年や高校1年の「探究」の授業では、様々な種類のクラスから自分が興味のある分野のクラスを選び、それについて同じ分野に興味のある生徒同士で話し合いながら調べたり、発表したりすることで、興味を深めることができ、この経験は推薦で大学を受験する際、面接で自分が大学で学びたい事について話すのにとっても活かされました。私は、茨中に入学した時にはまだ将来の夢がはっきり決まっておらず、あまり将来について考えずに過ごしてきましたが、志の高い友人や、進路についてたくさん相談にのって下さった先生方のおかげで今では希望する進路を見つけ、進学することができました。このような素晴らしい環境で学校生活を過ごせたことにとっても感謝しています。

私は将来、医薬品の開発に携わる研究者になりたいと考えています。そのためにも、大学で、十分な薬学の知識を身に着け、研究者としての姿勢を学び、自分の創った薬で社会に貢献できるよう、これからも頑張ろうと思います。